



#GifuCanadaホストタウン交流Project

2018-2022 *Re*COLLECTION



目次

ホストタウン ってなに? _____	1
選手団と子どもたちとの交流 _____	5
カナダやホストタウンの知識を拡大!岐阜市の取組み _____	9
パラリピアンによる学校訪問 _____	15
GAP食材を使ったおもてなしコンテスト _____	19
#GifuCanadaホストタウン交流Projectスタート _____	24
岐阜からの応援メッセージ動画1 _____	28
カナダ選手から感謝の動画 _____	35
岐阜からの応援メッセージ動画2 _____	38
カナダ出身者によるカナダ紹介 _____	42
パラリピアンとのオンライン交流 _____	46
パラリピアンとのオンライン交流イベント _____	49
学生によるカナダ情報の発信 _____	53
ホストタウン料理で交流 _____	58
選手を感じられたPR企画 _____	63
オリ・パラ事前合宿でのおもてなし _____	68
事前合宿での子どもたちによるサポート _____	72
中学生と選手のオンライン交流 _____	78
ホストタウン交流の振り返り _____	83

ホストタウンってなに?

岐阜県・岐阜市は カナダのホストタウンです

2018年11月、岐阜県とカナダ陸上連盟は東京オリ・パラの事前合宿を「岐阜メモリアルセンター」で実施することで合意。

そこで、2018年12月、岐阜県と岐阜市は共同で、カナダを相手国とするホストタウンに登録しました。東京パラの事前合宿も行われることから、2019年12月に共生社会ホストタウンにも登録。心のバリアフリーなどの取組みも推進してきました。

◎ホストタウンとは

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、参加国・地域との相互交流を図り、地域活性化を推進する自治体のことです。



岐阜メモリアルセンター 長良川競技場

カナダ陸上チームを紹介

陸上競技でのメダル獲得数

日本は金0個

東京オリンピック  金メダル2個！
銀1個 銅3個 計6個

東京パラリンピック  金メダル2個！
銀4個 銅2個 計8個

日本は金3個

国・地域別 陸上競技でのメダル獲得数

東京2020オリンピック		
1位	アメリカ	計26個
8位	カナダ	計6個
29位	日本	計2個

スゴイ!

東京2020パラリンピック		
1位	中国	計51個
20位	日本	計12個
25位	カナダ	計8個

次のページではメダル獲得選手を紹介します!

カナダ陸上チーム<オリンピック>

  2  1  3 計6個

  0  1  1 計2個

金メダル	ダミアン・ワーナー	男子十種競技
	アンドレ・ドグラス	男子200m
銀メダル	ムハンマド・アハマド	男子5000m
銅メダル	アンドレ・ドグラス	男子100m
	エバン・ダルフィー	男子50km競歩
	アンドレ・ドグラス	男子4×100mリレー
	ジェローム・ブレイク	
	ブレンドン・ロドニー	
	アーロン・ブラウン	



▲ダミアン・ワーナー



▲アンドレ・ドグラス

カナダパラ陸上チーム<パラリンピック>

金 2 銀 4 銅 2 計8個

金 3 銀 3 銅 6 計12個

金メダル グレッグ・スチュワート 男子 F46 砲丸投げ

ネート・リーチ 男子 T38 1500m

銀メダル ブレント・ラカトス 男子 T54 5000m

男子 T53 400m

男子 T53 100m

男子 T53 800m

銅メダル ザカリー・ギングラス 男子 T38 400m

マリッサ・パパコンスタンティヌ 女子 T64 100m



▲グレッグ・スチュワート



▲ネート・リーチ



▲ブレント・ラカトス

#GifuCanadaホストタウン交流Project
選手団と子どもたちとの交流

海外からの訪問客に 小学生は興味津々!

2019年5月にカナダチームが岐阜での合宿にあわせ、チームスタッフが小学校を訪問しました。チームスタッフは、カナダやチームのことを知ってもらおうと、カナダの文化や注目選手などの紹介をしてくれました。児童は最初緊張した様子でしたが、話を聞くうちにどんどんカナダの魅力に引き込まれていきました。



競技強化部長のサイモン氏が茜部小学校を訪問。カナダ陸上競技連盟のリレー代表団がIAAF世界リレー2019横浜大会(5/11-12)に出場するのに合わせ、岐阜で合宿を行ったことで実現しました。

「嬉しい！」 メダリストから直々にアドバイス

その他にも、ヘッドコーチを務めるグレイ・ロイコーチが合宿の合間に高校生とスポーツ交流をしました。参加した岐阜高校の生徒からは「リレーでの走り方などを知ることができた。自分達の理想との違いを確かめ、参考にすることができた」と、顧問の先生も「生徒たちがリレーの知識を増やす良い場になった」と興奮気味。グレイ・ロイコーチは、参加者からの質疑応答や記念撮影にも気さくに応じてくれました。



グレイロイ氏は元金メダリスト。県立岐阜商業高校、岐阜高校、岐阜北高校の陸上部約50名の練習風景を視察し、直接、アドバイスをしていました。



金メダリストの登場に大興奮!

さらには、三輪中学校の陸上部は岐阜メモリアルセンターでの合宿の様子を見学。アスリートの練習風景を間近に見学することができた生徒たちは、大喜び。練習終わりには、東京オリンピック金メダリストとなった選手も登場し、生徒だけでなく、周囲の大人たちも大興奮でした。



東京オリンピックで金メダル(男子200m)と銅メダル2個(男子100m、男子4×100mリレー)を獲得したアンドレ・ドグラス選手も岐阜での合宿経験者。金メダリストと岐阜で会えた生徒は大興奮。練習後には、なんと即席のサイン会を開いてくれました。

#GifuCanadaホストタウン交流Project

カナダやホストタウンの知識を拡大！
岐阜市の取組み

子どもたちが大活躍! 「岐阜市・カナダ応援校」

岐阜市内の小・中・特別支援学校5校は2019年から「岐阜市・カナダ応援校」として、応援メッセージフラッグ、応援動画、応援グッズ制作を通じて、カナダ選手との交流を続けてくれました。東京オリ・パラ事前合宿中には練習風景を見学することができ、観覧席から直接、選手にエール。「岐阜市・カナダ応援校」の取組みは、ホストタウン交流への貢献が認められ、東京オリ・パラ担当大臣から「ホストタウン功労賞」が贈られました。



「第63回 ぎふ信長まつり」(2019年)では、応援フラッグを持って児童・生徒がパレードに参加し、カナダとのホストタウン交流をPR。

カナダやホストタウンの知識を拡大!岐阜市の取組み

岐阜市・カナダ応援校5校が制作した 応援フラッグ

カナダ陸上チームとの交流に想いを馳せ、「選手の努力」や「バトンを受け渡して走る姿」を想像し、活躍に期待しながら制作しました。

茜部小学校



長良西小学校



島中学校 陸上部



島中学校 美術部



三輪中学校



岐阜特別支援学校



カナダってどんなところ? ホストタウンウィーク2019「カナダデー」

岐阜市は「ホストタウンの取組みを知ってもらいたい!カナダを感じてもらいたい!」との思いから、カナダにどっぷり浸れるイベントを2019年8月に開催。在名古屋カナダ領事館領事が自らカナダを紹介したほか、カナダの伝統菓子の紹介や展示・体験コーナーを設置。多くの来場者を目にした岐阜市の担当者は「岐阜の方にカナダを感じてもらうことができた」と、ホストタウンの更なる取組みへの決意を新たにしました。

シェニエ・ラサール在名古屋カナダ領事館領事(※当時)による講演会。質疑応答の時間では、子どもやこれからカナダに留学予定の学生のご家族などから多数の質問があがりました。



東海学院大学管理栄養学科の協力により、カナダの伝統菓子「スクエア」を提供。200人分はあっという間になくなり、味も大好評!

岐阜大学地域科学部が制作したパネル展示では、来場者がカナダの美しい風景に目をとめていました。体験コーナーでは、子どもたちがアイスホッケーで遊びながらカナダを体感。



ホストタウンを知って欲しい! 「ホストタウンウィーク2020」

前年に引き続き、ホストタウンの取組みを広く知ってもらうため、岐阜市は2020年2月に、ホストタウンウィークを開催。特に反響が大きかったのは、日本人オリンピックとパラリンピアンとの講演会。普段は聞くことができない、オリンピックとパラリンピックに共通するアスリートの姿勢などを紹介。興味深いお話を知ってもらうことで、岐阜市民にオリ・パラを通じてホストタウンの取組みに関心をもってもらうことができました。



カナダが事前合宿を行う、陸上とパラ陸上について小林祐梨子さん(北京オリンピック出場)と花岡伸和さん(アテネ・ロンドンパラリンピック出場)が対談。



岐阜農林高等学校 流通科学科の生徒によるカナダクイズ。



岐阜市・カナダ応援校の応援メッセージフラッグの展示。

カナダやホストタウンの知識を拡大!岐阜市の取組み

「ホストタウンフレーム切手」を販売 (2020年～)

日本郵便株式会社と連携し、ホストタウン相手国であるカナダの写真をデザインした「ホストタウンフレーム切手」を作成、販売し、東京オリパラに向けて、機運醸成を図りました。



岐阜市×岐阜県×カナダ ホストタウンフレーム切手

#GifuCanadaホストタウン交流Project
パラリピアンによる学校訪問

学校にパラリンピック・メダリスト現る!

2019年7月、カナダのリオパラリンピック・銀メダリスト(パラ陸上)が岐阜メモリアルセンターで開催される「2019ジャパンパラ陸上競技大会」に出場するため、岐阜市を来訪。滞在の合間をぬって、選手らが岐阜市・カナダ応援校である島中学校と岐阜特別支援学校を訪問。目の前に現れたメダリストに児童・生徒たちは大喜びしていました。



リオデジャネイロオリンピック銀メダリストのアリスター・マックイーン選手(F44 男子やり投げ)とキム・カズンコーチが岐阜特別支援学校を訪問。

パラリピアンによる学校訪問



陸上部80人が中学生版やり投げ「ジャベリックスロー」で、リオデジャネイロ・パラリンピック銀メダリストのアリスター・マックイーン選手と交流。先生によると、「生徒にポイントを伝えることがとてもうまく、多くの生徒がやりをまっすぐ飛ばせるようになったり、記録を伸ばした。」とのこと。

パラリンピック・メダリストと勝負！

選手らは、訪問した島中学校で生徒からインタビューを受けたり、一緒に中学生版やり投げ「ジャベリックスロー」を競ったり、スポーツ交流を楽しんでいました。やり投げの選手ということもあり、先生や生徒はまず、選手の体の大きさに驚いていた様子。その雰囲気を感じた選手らはとても気さくに親切に、笑顔で生徒とふれあってくださり、和やかなムードに。楽しい交流時間が生まれました。

パラリピアンによる学校訪問



校内放送でカナダ選手へのインタビューをする島中学校の生徒会。



島中学校の生徒は「2019ジャパンパラ陸上競技大会」(岐阜メモリアルセンター)を見学。応援をしながら、パラアスリートの力強さを感じていました。先生によると、この交流をきっかけに生徒はパラリンピックに興味をもち、東京オリ・パラでは、日本選手だけでなく、カナダ選手も応援していたとのこと。

#GifuCanadaホストタウン交流Project

GAP食材を使ったおもてなしコンテスト

GAP食材を使ったおもてなしコンテスト

熱く、真剣に取り組んだ おもてなしの心

岐阜農林高校と岐阜県がチームとなり、「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」(内閣官房主催:2019年)にチャレンジ!。コンテストでは、おもてなしの心のすばらしさを発信しようと、生徒の手で育てたGAP認証のお米「縁結び」を使った和食を、神前結婚式という形で披露。岐阜の食材や日本の伝統と文化をホストタウン相手国であるカナダに伝えるため、熱心に取り組みました。

◎GAP食材を使ったおもてなしコンテストとは

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が主催。ホストタウンを訪問する各国・地域の選手等に対してGAP食材を使った、おもてなしの心を発信することを目的にしたコンテストです。



高校生と一緒に、おもてなしに最適な料理は何か、神前結婚式の奥ゆかしさをどう伝えるか、当日を迎えるまで、何度も試食や練習を繰り返しました。

GAP食材を使ったおもてなしコンテスト



岐阜農林高校が生産するお米「縁結び」と世界農業遺産「長良川の鮎」を使った釜飯、奥美濃古地鶏のロースト、カナダサーモンの手巻き寿司などを提供。料亭「美乃壺」の監修を受けて、生徒が調理しました。「カナダの選手の活躍を後押ししたい」との熱い思いは、カナダと日本を融合させた料理で表現。和食の隠し味になんと！カナダの名産メープルシロップを使用。ご招待した在住カナダ人やホストタウン相手国関係者に好評でした。

えっ!生徒が花嫁花婿に! 金華山のふもとで模擬神前結婚式

食事の後、プレイベントとして岐阜護国神社にて模擬神前結婚式を実演。在住カナダ人やホストタウン相手国関係者をもてなしました。岐阜市内の料亭、神社、たくさんの方と協力を得ながら取り組んだおもてなし企画になりました。



生徒が紋付袴の新郎役、白無垢の新婦役、神楽を舞う巫女となり、花嫁行列、三三九度などを行いました。

GAP食材を使ったおもてなしコンテスト

おもてなし企画は 東京オリ・パラ担当大臣からも好評価

コンテストには全国40チームが参加。岐阜農林高校・岐阜県チームは内閣官房オリパラ事務局賞を見事、受賞！橋本聖子東京オリ・パラ担当大臣（当時）との意見交換会（2020年9月）では、橋本大臣から「“縁結び”の名前が金メダルにつながる。そして、神前結婚式でのおもてなしという発想に感銘を受けた」との評価をいただきました。



おもてなし企画参加メンバー



お米“縁結び”の収穫風景



岐阜護国神社への“縁結び”奉納



大臣とのオンライン意見交換の様子

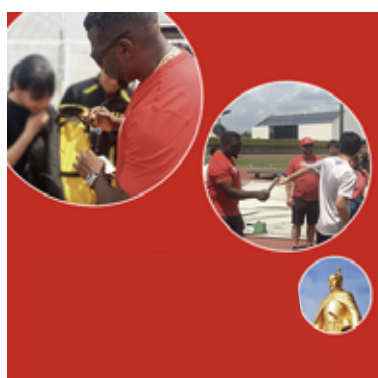
#GifuCanadaホストタウン交流Project

#GifuCanadaホストタウン交流Projectスタート

#GifuCanadaホストタウン交流Projectスタート

オリ・パラ延期に負けず、 新たな交流Project始動

2020年3月24日、新型コロナウイルス感染拡大により、東京オリ・パラの延期が発表。今後の予定がすべて白紙になりましたが、「延期になった1年でカナダ選手とさらに交流を深めたい!」との思いが強まり、岐阜県は2020年9月に、Twitter、Instagram、Facebookを活用した交流を中核とする「#GifuCanada ホストタウン交流Project」をスタート。カナダと岐阜の絆を深める新しいProjectが始まりました。



GifuCanada ホストタウン交流Project



@GifuCanada



@gifucanada_hosttown

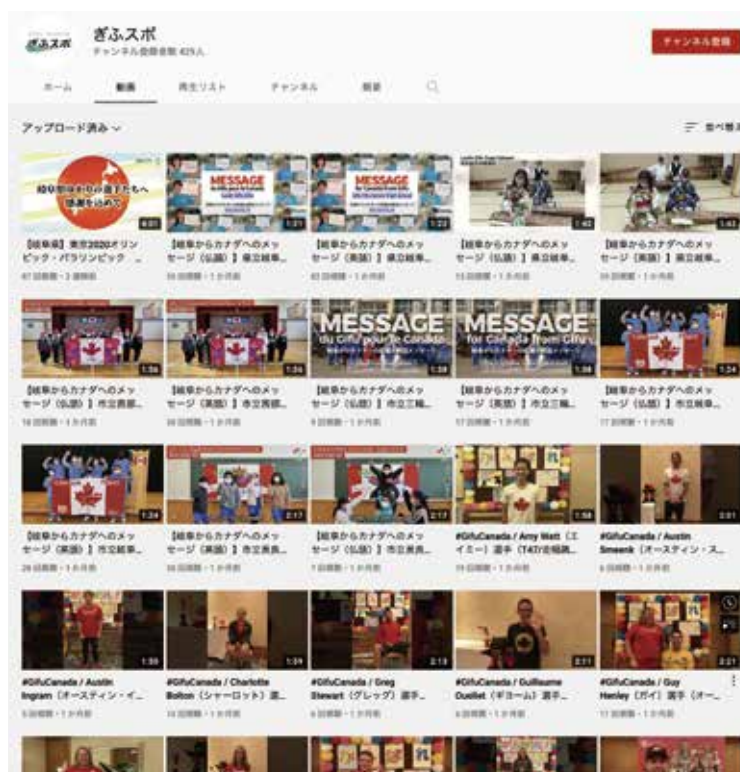


@GifuCanada

オンライン交流スタート

のべ1万回以上再生
カナダへの応援動画

YouTubeチャンネル「ぎふスポ」にて、岐阜の小・中・高・特別支援学校の児童・生徒による応援・歓迎メッセージ動画を公開。これまでに、のべ1万回以上が視聴されました。また動画は、約6万人のフォロワーがいるカナダ陸上競技連盟のSNSでも紹介され、世界中の方にご覧いただきました。選手のパワーとなり、また、延期された事前合宿への私たちの気持ちを高めることとなった応援動画。次のページからどんどんご紹介します。



参加校13校、16本ある全ての応援動画はYouTubeチャンネル「ぎふスポ」で視聴することができます。カナダの公用語である英語とフランス語、それぞれの字幕も付いています。

長良高校 英会話部



金華山の標高は東京タワーと同じ高さであり、ロープウェーまたは徒歩で山頂まで登ることができること、山頂にある岐阜城からは岐阜市の景色が眺められることなど、岐阜の魅力を伝えてくれました。

応援メッセージ動画〔長良高校〕 ぜひ、岐阜を満喫しに来て！

岐阜市の魅力を伝えるため、岐阜市のシンボルであり、学校からも近い金華山と長良川をバックに、英語で金華山を紹介。歴史がある地域で、トレーニングと観光の両方を満喫して欲しいとの思いを込め、「私たちは選手のみなさんを岐阜で待っています」と、選手に呼びかけました。

#GifuCanadaホストタウン交流Project
岐阜からの応援メッセージ動画1

岐阜からの応援メッセージ動画

応援メッセージ動画〔岐阜高校〕 感謝とチアと歌とで歓迎！

2019年のスポーツ交流でヘッドコーチから直接、指導を受けたことがある岐阜高校 陸上部。そのアドバイスを活かし、自分達のリレーをレベルアップすることができたとのこと。この感謝の気持ちをストレートに伝えるため、英語でメッセージを伝えました。

岐阜高校 陸上部



顧問の先生によると、スポーツ交流のおかげで、学んだことを取り入れようと部員同士で話し合うことができ、チームの結束力をさらに高めているそうです。

岐阜からの応援メッセージ動画

岐阜高校 チアリーダー



「私たちの、頑張り!の気持ち」を届けるために笑顔で、ダイナミックなパフォーマンスを披露。吹奏楽部の演奏をバックに、息の合った華やかな応援動画となりました。

岐阜高校 音楽部

岐阜高校 音楽部はカナダ国歌「オー・カナダ」をフランス語で披露しました。日本人が奏でるフランス語でのカナダ国歌斉唱に選手たちは大感心。



岐阜からの応援メッセージ動画

あの手、この手で
選手に応援の気持ち、届け。

・ 岐阜市立岐阜商業高校 陸上部 ・



〈市立岐阜商業高校 陸上部〉
練習会場となる「岐阜メモリアルセンター」を撮影場所にチョイス。選手は応援動画から、会場の雰囲気を知ることができたのではないのでしょうか。

・ 岐阜北高校 陸上部 ・

〈岐阜北高校 陸上部〉
コロナ禍という状況を踏まえ「健康に気をつけてください」「カナダと岐阜は心でつながっています」と、カナダ選手を気にかけての応援動画です。



・ 岐阜北高校 コーラス部 ・



〈岐阜北高校 コーラス部〉
カナダ国家「オー・カナダ」を英語で披露し、選手を歌で応援しました。

岐阜からの応援メッセージ動画

応援メッセージ動画〔岐阜総合学園高校〕 日本文化全面押し出し動画

岐阜総合学園高校はカナダ陸上チームのことやカナダと岐阜のつながりを学ぶと共に、日本の文化を盛り込んだ応援動画を作成。浴衣を着た生徒が箏で「ふるさと」を演奏し、後ろで同時に筆を走らせて「陸」と「上」の書を披露。「The 日本」を感じられる応援動画となりました。

岐阜総合学園高校



岐阜からの応援メッセージ動画

事前合宿で岐阜に来てほしい！ 素直な気持ちがダダ漏れの応援ぶり

岐阜県立岐阜商業高校 陸上部



声を合わせて「ファイト!」と応援。2019年にカナダ陸上選手団のヘッドコーチとスポーツ交流ができたことを「夢のような時間だった」と伝えていました。

岐阜清流高等特別支援学校

「活躍を楽しみにしています」「岐阜に来てくれることが嬉しい」という素直な気持ちを応援メッセージに変えて、伝えていました。



岐阜農林高校

日本のお米を中心に、「縁起物」を集めた日本料理で、食を通した日本文化を紹介しつつ、歓迎の気持ちを伝えました。



県立高校

歴史や食べ物など岐阜の魅力を伝えてくれました。動画をみたアーロン・ブラウン選手(100m、200m)は紹介された内容に興味をもってくれました。



岐阜からカナダ→世界へ

岐阜の応援動画に、全世界が注目!

岐阜からカナダへの応援メッセージ動画は、約6万人のフォロワーがいるカナダ陸上競技連盟のSNSでも発信され、「#GifuCanadaホストタウン交流project」の取組みを世界の方々に知っていただく機会になりました。きっと、カナダだけでなく世界中の人々もみてくれたことでしょう。岐阜からの応援が選手のメダル獲得を後押しした、と思わずにはいられません。



#GifuCanadaホストタウン交流Project
カナダ選手から感謝の動画

カナダ選手から感謝の動画

カナダ選手から アンサー動画が到着！

岐阜からの応援メッセージ動画に対し、カナダ選手5人からお礼のメッセージ動画が届きました。選手のメッセージからも児童・生徒の声が確実に選手に届いていたことが分かります。そして、アンサー動画を送ってくれた選手の中から、東京オリ・パラでメダルを獲得した選手が3人も誕生。動画は6万人以上のフォロワーがいるカナダ陸上競技連盟のSNSで公開され、岐阜とカナダの交流が、カナダ選手を通じカナダだけでなく世界中の人々に発信されました。

銅



すばらしいビデオをありがとう

東京オリンピック 400mリレー 銅メダリスト
/アーロン・ブラウン選手
岐阜からのメッセージ動画をみて、山頂にある岐阜城に興味をもち、また、鮎の塩焼きを食べてみたいとのこと。

Olympian

東京オリンピック 出場 /
サラ・ミットン選手 (砲丸投げ)
コロナ禍でも練習は順調に行っていること、事前合宿で岐阜を訪問することを楽しみにしていると話してくれました。



カナダ選手から感謝の動画



金



岐阜の皆さん、こんにちは。
私はグレッグ・スチュワートです。

Paralympian

東京パラリンピック F46 砲丸投げ 金メダリスト / グレッグ・スチュワート選手

高校生の英語力に驚き、情熱に感激したとメッセージをくれました。



金

東京パラリンピック T38 1500m 金メダリスト / ネット・リーチ選手
応援メッセージ動画の制作に感謝し、「金華山に登りたい」と、岐阜での事前合宿を楽しみにしていると話してくれました。



皆さん、こんにちは! お元気ですか。
私はネイサン・リーチです。



岐阜の皆さん、おはようございます。
私はジェン・ブラウンです。

東京パラリンピック 出場 / ジェニファー ブラウン選手 (F38 円盤投げ)

岐阜からの応援メッセージにとっても喜び、「岐阜を第2のふるさとと思う」ととても嬉しいメッセージをくれました。

#GifuCanadaホストタウン交流Project
岐阜からの応援メッセージ動画2

岐阜からの応援メッセージ動画

手には応援メッセージフラッグ、 みんなで考えたメッセージよ届け!

岐阜市・カナダ応援校もカナダ選手に向けて、応援メッセージ動画を制作。「新型コロナウイルス感染症の流行を乗り越え、東京大会に向けて頑張ってもらいたい」という願いを込めたメッセージを送っていました。

長良西小学校



1グループ4、5人の12グループに分かれ、ポーズを決めたり、英語で伝えたり、それぞれのグループで考えた言葉で応援。「どのように歓迎したら良いか」「どんなメッセージなら伝わるか」考えながら、時間をかけて制作してくれたそうです。

岐阜からの応援メッセージ動画

岐阜特別支援学校



「信長まつりで、フラッグを持って応援したよ!」と。先生によると、カナダ国旗について調べているうちに、どんどんカナダへの興味をもつようになっていったそうです。

三輪中学校 陸上部



2019年7月にカナダ選手の練習見学した時、質の高い練習をしていたことに驚いた、と伝えてくれました。

茜部小学校



「日本とカナダ、どちらを応援するか悩むけど…、カナダを全力で応援します!」とホストタウンならではの悩みを正直に伝えてくれました。

カナダの子供たちからの感謝動画



メッセージを届けてくれたのはセント・マイケルズ・ユニバーシティ・スクールのオリンピック・クラブ（ブリティッシュ・コロンビア州ビクトリア）に所属する生徒14名。

カナダの子どもたちからの 「Arigato」動画到着！

岐阜の児童・生徒のメッセージ動画をみたカナダの子どもたちが、岐阜への感謝を伝えるメッセージ動画を送ってくれました。「カナダの選手を応援してくれてありがとうございます」と、日本語でメッセージ。延期された東京オリ・パラの成功を願ってくれました。このように、岐阜がカナダを応援し、歓迎していることをSNSで発信したことにより、カナダ選手だけではなく、カナダの方々にも広く知っていただくことになり、岐阜とカナダの絆が深まっていることを実感する機会となりました。

#GifuCanadaホストタウン交流Project
カナダ出身者によるカナダ紹介

カナダ出身者によるカナダ紹介

岐阜県在住カナダ出身者が「これぞカナダ」を紹介

岐阜県・岐阜市のホストタウンであるカナダのリアルを知ってもらおうと、岐阜県に住んでいるカナダの方々に、「#GifuCanada ホストタウン交流Project」のSNSでカナダを紹介してもらいました。

岐阜県公式SNS「カナダとのホストタウン交流project」

文化のモザイク **カナダ**

東海学院大学 教授
アンドリュー・デュアー
Andrew Dewar

カナダは日本人になじみやすい豊かな風土をもっており、世界から移民を迎え入れていることで色鮮やかな「文化のモザイク」をなしています。これから一年間、カナダの暮らしと文化をカナダ人の視点で紹介いたします。

#GifuCanada

プロフィール
カナダ・トロント生まれ。トロント大学大学院で図書館情報学修士号を取得。昭和63年に来日し、平成4年3月に慶應義塾大学大学院図書館情報学研究科後期博士課程修了。現在、東海学院大学教授（図書館学）兼図書館長および同附属東海第一幼稚園園長。子ども司書推進プロジェクト代表、家読推進プロジェクト理事。国内外で紙ヒコキ作家としても知られ、著作40冊以上。

カナダの「社会の多様性」「さまざまな文化の共同体」を伝えた東海学院大学 アンドリュー・デュアー先生。カナダでは移民者や障がい者、様々な少数民族がそれぞれのアイデンティティをもちながらも「私はカナダ人!」という気持ちを大切にしているそうです。

カナダ人として、岐阜市主催の「ホストタウンウィーク2019カナデー」や岐阜農林高校が企画した模擬結婚式などに、興味深く参加したデュアー先生。「このまま交流が終わるのはもったいない!」と、今後の岐阜とカナダの交流にも期待されています。

カナダ出身者によるカナダ紹介

カナダ文学：サバイバル（5-1）

東海学院大学 アンドリュー・デュアー

最近になって、カナダ文学は海外で注目されるようになりました。2013年にノーベル賞を受賞したアリス・マンロー氏や「イングリッシュ・ペイシェント」で有名なマイケル・オンダーチェ氏も注目されていますし、近未来のディストピアを描くマーガレット・アトウッド氏の「ハンドメイド・テイル・侍女の物語」は世界中で知られています。

しかし、カナダ文学というのは、どんな特徴があるのか、まだ世界であまり知られていません。あのマーガレット・アトウッド氏によれば、カナダ人作家の最大のテーマは、サバイバルです。



カナダは公用語が英語とフランス語の2つ!そのため、文学は二か国語で出版されているそう。日本との共通点と相違点について、考えるきっかけをつくってくれました。

マッハ2以上のスピードと抜群の戦闘能力を持っていたので、無敵な戦闘機でした。しかし、試作機のお披露目は偶然にスプートニクの打ち上げと同じ日に当たり、いきなり無人ミサイルの影に落とされました。極めて優秀な性能でも、友人戦闘機は役割を失っていました。

結局6機は作られました。開発は突然キャンセルされました。カナダ政府はその破壊を命令しました。図面や模型、フィルム、写真なども破棄されるはずでしたが、一斉に首になった作業員は大切な資料を家に隠して、何とか守ってきました。



紙ヒコーキ作家としても知られるデュアー先生。カナダの名機を紙ヒコーキで紹介しています。

カナダ出身者によるカナダ紹介

岐阜県公式SNS「カナダとのホストタウン交流project」



カナダの窓

岐阜聖徳学園大学
外国語学部 准教授
トンプソン アラン
Thompson Alan

カナダのことについて、月1回ペースで
情報を発信していきます。
みなさんが、カナダに興味・関心も
ってもらえたらうれしいです。

#GifuCanada

1983年にウィーンズ大学工学部工学物理学専攻卒業。1990年にコンコーディア大学 言語教育研究
修士課程修了。2006年にトロント大学教育学部博士課程修了。2013年から岐阜聖徳学園大学外
国語学部に勤務。学生さんに英語が世界でどのように使われているか教えています。

岐阜聖徳学園大学・外国
学部 トンプソン・アラン先生はカナダの“今”を紹介
してくれました。

<カナダでのNEW YEAR (新年)>



カナダでのクリスマスはたいへい華か
な家族の集まりです。
しかし、次期日は音楽のあるパーティー
となります。寒い中でも、国中で花火大会
が開催されることが多いです。
今年を飾ってほとんどの年には、親えは、
家族や友達と家で過ごすとか、レストラ
ンやホテルでの豪華なパーティーに参加
しようとか、新年へのカウントダウンを祝
う計画について人々が話しているのを聞
くことができますよ。

2021年のコラムをお読み頂きましてありがとうございました。来年もよろし
くお願いいたします。
Wishing you all a healthy and happy 2021!
皆様のご健康で幸せな2021年となるようお祈りしております。



<ユニークなカナダ>

最近、ソーシャルメディア上で、「自分がカナダ人であることを誇るに、カ
ナダをあらゆるものを数えてください」という投稿がありました。
多くの人が、どこにでもあるクワやアイスホッケーについて発言しました。
何も思いつかなくて “sorry” と書いたら人はいました。《カナダ人は
“sorry” をよく使うそうです。》
しかし、圧倒的に多いのは、スナックやファーストフードと書ける人です。
具体的にどんなものか？！



Lynda Sanchez



<人と野生動物>

大都市に住んでいても、ほとんどのカナダ人は野生動物からそれほど離れてい
ません。シカ、キツネ、ウサギ、タヌキ、リスなどがトロントを縦断する自然
に生息しており、森にもよく現れます。さらに北上すると、熊とヘラジカ(ム
ス)が深刻な脅威となっています。ウサギは家やレストランの裏で食べ物を突
してゴロゴロしたり、人間への好奇心をなくすることができます。ムスは通常
攻撃的ではありませんが、道に迷い込んだものの衝突は確率が高くなります。



#GifuCanadaホストタウン交流Project
パラリピアンとのオンライン交流

パラピアンとのオンライン交流

みんなどう過ごしてる？ 気になる話題を本音でトーク

2020年11月、国際大会で活躍するカナダパラ陸上3選手と岐阜でパラ陸上競技を行う方々約30人が参加するオンライン交流会を開催。質疑応答という形で、コロナ禍におけるお互いの状況報告をはじめ、カナダ選手から東京パラリンピックへの意気込みを聞くことができました。



交流の様子はYouTubeチャンネル「ぎふスポ」で生配信されました。

参加者／ギョーム・ウレット選手（T13 5000m）、ジェシカ フロッテン選手（T53 400m、800m）、トーマス・ノルマンドー選手（T47 400m）、石田駆選手（各務原市出身：T46 100m、400m）、岐阜清流高等特別支援学校陸上部など。

パラリピアンとのオンライン交流

選手同士の貴重なトークに うなずきの連続

参加者の一人、岐阜県各務原市出身、東京パラリンピック出場の石田駆選手は、カナダ選手にコロナ禍でのトレーニング方法を質問。アスリートたちのやりとりに、参加者は



感心しきり。カナダ選手から岐阜へのメッセージもいただき、日本と海外の選手同士が交流する貴重な機会になりました。

[参加者の感想の一部をご紹介します]

- ・海外の試合へ行ってもこのような海外選手との交流はできない。とても貴重な機会となった。
- ・大会当日のルーティーンなどを知ることができ、とても興味深かった。
- ・自分もパラリンピックに出られるように頑張りたい。



#GifuCanadaホストタウン交流Project
パラリピアンとのオンライン交流イベント

パラリピアンと対決!

2021年1月、「カナダパラリピアンと一緒にゆるスポしよう」を開催。カナダパラ陸上選手3名、岐阜県民の参加者25名、さらに、ゲストの石田駆選手(各務原市出身:T46 100m、400m)、花岡さんも加わり、全員一緒にゲームを楽しみました。



【参加選手】

マリッサ・パパコンスタンティヌ選手 (T64 100m、200m) 東京パラリンピック 銅メダリスト
ネート・リーチ選手 (T38 800m、1500m) 東京パラリンピック 金メダリスト
アマンダ・ルツメリ選手 (T46 400m)

【ゲスト】

花岡伸和さん(日本パラ陸上競技連盟副理事長・アテネ、ロンドンパラリンピック出場)
石田駆選手 (T47 100m、400m) 東京パラリンピック代表

国や年齢の垣根を超えて、 白熱した試合

家族みんなで参加するなど幅広い年齢層の参加者が集まり、パラリンピアンと一緒に、みんなで楽しく交流。まゆげの上げ下げの回数を競うゲーム「まゆげリフティング」では、なんと!岐阜からの参加者が優勝!岐阜からの参加者がパラリンピアンに勝つという展開に、大いに盛り上がりました。



◎「ゆるスポ」って何?

「ゆるスポーツ」のことで、年齢関係なく、誰もが平等に参加できるスポーツ(ゲーム)。

パラリンピアンとのオンライン交流イベント

一緒にゲーム、パラリンピアンに親近感

オンライン交流イベントでは、一緒にゲームをするだけでなく各選手の状況や東京パラリンピックへの意気込みも聞くことができました。選手からは「遠い地から私たちを応援してくれて嬉しい」「事前合宿で岐阜のみなさんに会うのが楽しみになった」と嬉しいコメントをいただきました。岐阜県の参加者からは「とても楽しめた。カナダ選手のことをもっと知りたいと思いました。今後のニュースに注目します!」という声を聞くことができました。



#GifuCanadaホストタウン交流Project
学生によるカナダ情報の発信

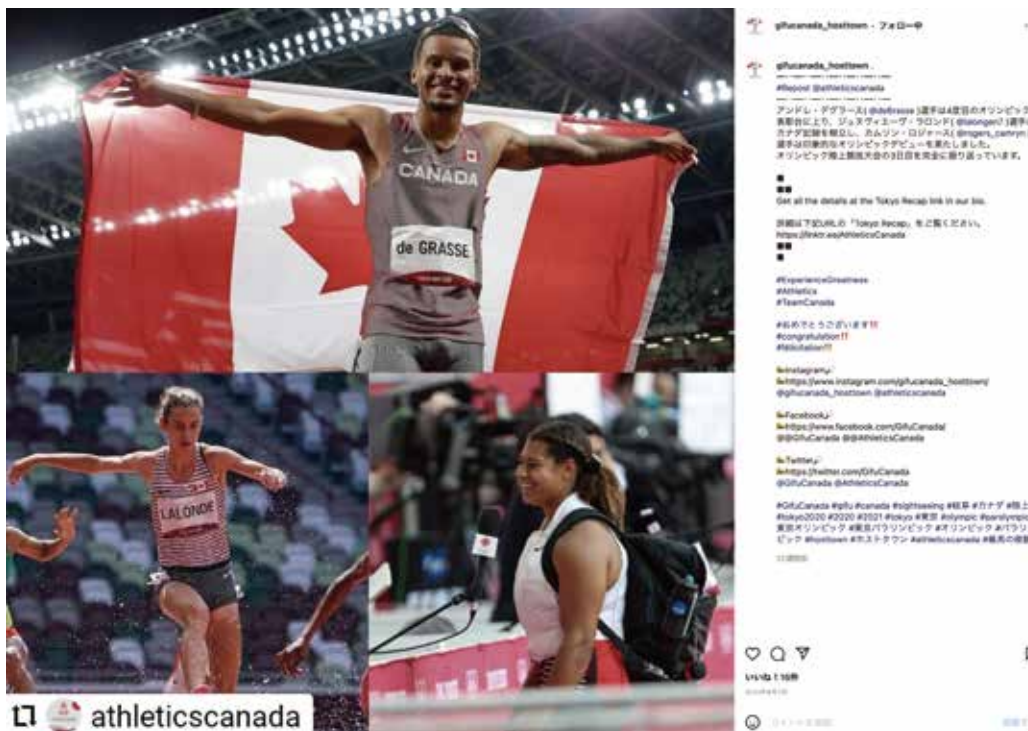
翻訳もお任せ、カナダからの情報をスピーディーに発信

岐阜大学地域科学部の学生8名がボランティアで「#GifuCanadaホストタウン交流 Project サポートメンバー」として情報発信を強力にサポート。東京オリ・パラが終わるまでの一年間、「#GifuCanadaホストタウン交流Project」SNSでカナダ文化の紹介やカナダ陸上競技連盟から発信される英語の情報を翻訳し、県民に向けわかりやすく発信し続けてくれました。



学生ならではの目線でカナダを紹介

サポーターメンバーが「#GifuCanada ホストタウン交流Project」SNSで発信した情報は、カナダのおしゃれなカフェ事情など、学生らしい視点が盛り込まれ、親近感が湧く内容。オリ・パラ期間中はカナダ陸上競技連盟が発信した英語の情報を即座に翻訳し、紹介してくれたおかげで、私たちはリアルタイムでカナダ選手の活躍を知ることができました。メンバーのみなさんには心から感謝しています！



自らの企画を直接交渉 選手とのオンライン対談が実現

サポーティングメンバーは「もっと多くの人のカナダへの関心を高めたい」との思いが募り、選手とのオンライン対談を企画。直接、カナダ陸上競技連盟に交渉し、同年代の選手との意見交換会が実現しました。



…そして、対談はいつの間にか女子会に!

参加選手の好きな音楽やリラックス法などをお互いに話し合っているうちに、盛り上がりは最高潮に!対談の内容は2021年5月から3ヶ月にわたり、記事として「#GifuCanada ホストタウン交流Project」SNSに投稿。選手のリアルを伝えました。この取り組みは岐阜の方に加えカナダ陸上競技連盟や在日カナダ大使館などにも喜んでいただけました。



参加パラアスリート
マディソン・ウィルソン・
ウォーカー選手
(T62 短距離、走り幅跳び)

「ホストタウン功劳賞」を受賞

このボランティア活動を振り返って、メンバーからは「英語での企画プレゼンや選手との交流など、貴重な経験ができた」「東京で開催されたオリ・パラに岐阜の地から関わられて嬉しい」「貴重な経験ができた」「機会があればまたチャレンジしたい」「カナダは第2の母国のよう」など、このプロジェクトへの参加を通じ、達成感と喜びを感じたようです。メンバーらの活動は県のホストタウン交流を後押しし、カナダの情報を広く岐阜県の方々に発信したことが評価され、東京オリ・パラ担当大臣より「ホストタウン功劳賞」が贈られました。



◎「ホストタウン功劳賞」とは

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部事務局が設けた賞。ホストタウンの取組みにおいて、顕著な功績のあった個人・団体を表彰するものです。

#GifuCanadaホストタウン交流Project

ホストタウン料理で交流

作ってみたいくなる! カナダ料理のクッキング動画

東海学院大学管理栄養学科は、同学科の専門となる「食」を通じて、県民に向けてカナダを紹介してくれました。

異なる文化が共存するカナダ。カナダらしい料理を紹介するために、学生らは同大学とつながりのあるトロント・バンクーバー・モントリオール・オタワに住んでいるカナダ人約150名に調査。カナダ料理を紹介する動画では、調査に基づいた10品を紹介してくれることになりました。日本との違いが分かる内容や、フランス料理・イギリス料理が背景にある食文化を紹介することで、「文化のモザイク、カナダ」を県民に感じてもらえる動画になりました。



学生に好評だった「ナナイモバー」。冷凍保存して、来客にお出しするそう。これが学生が驚くほど、かなり甘い!カナダのティー文化を象徴するお菓子です。

ホストタウン料理で交流

調査により選ばれし
カナダ料理10品!



ベリークリスプ



ブロッコリーサラダ



キャロットサラダ



ナナイモバー



パンケーキ



ジンジャーコーディアル



バタータルト



チーズボール



トルティエール



プティーン

メープルシロップとイチゴが会う、 おもてなし料理の開発

東海学院大学管理栄養学科はおもてなし料理開発チームを立ち上げ、内閣官房主催の「世界のおもてなし料理レガシープロジェクト」(2021年)に岐阜県・岐阜市と参加。カナダと岐阜を融合したおもてなし料理を開発し、丸川珠代東京オリ・パラ担当大臣(当時)とオンライン交流会の機会を得、大臣からも高評価を得ました。おもてなし料理は紹介動画を制作し、事前合宿において選手に紹介しました。



スポーツ栄養学の学びを活かし、一皿で栄養素を補えることを前提に、メープルシロップや岐阜県産いちごを使った鮎菓子や県食材を使用したトルティエールを開発しました。



キッチンカーで カナダのお菓子をPR

同大学が所有するキッチンカーで岐阜県庁や岐阜市役所などへ出向き、メープルスコーンやカナディアンジンジャエールを販売し、多くの方にカナダのお菓子を知ってもらう活動をしました。



「ホストタウン功労賞」を受賞

同科のおもてなし開発メンバーも「ホストタウン功労賞」(内閣官房オリパラ事務局)を受賞。特徴をとらえながら、カナダの料理を動画やキッチンカーで広く紹介したことに評価をいただきました。

#GifuCanadaホストタウン交流Project

選手を感じられたPR企画

選手を感じられたPR企画

選手と一緒にダッシュ!? 岐阜駅の階段に選手登場

東京オリ・パラの事前合宿が行われた2021年7月から大会が終了する2021年9月まで、岐阜県内各所で「#Gifu Canadaホストタウン交流Project」のPRを行いました。コロナにより選手と直接会えないため、事前合宿で岐阜にいるカナダ陸上選手を身近に感じてもらうと、JR岐阜駅北口駅前広場には数カ所のフォトスポットを設置しました。



階段アートが設置された「信長ゆめ広場の階段」。カナダ陸上選手と一緒に走る気持ちになった写真が撮影できました。

選手を感じられたPR企画



歩行者用デッキを支える柱には、アリシャ・ニューマン選手の棒高跳びの記録である4m82cmをリアルな高さで表現。「え?本当にこの高さを跳ぶの?」と見上げる人が続出。

JR岐阜駅「信長ゆめ広場の階段」横にもポスターがいっぱい。オリ・パラ開催、事前合宿実施を象徴する、絶好のフотスポットになりました。



選手を感じられたPR企画

ショッピングモールで パラアスリートの素顔を紹介

岐阜県図書館やモレラ岐阜、岐阜県内の学校などで「パラアスリートの素顔ON/OFF」を開催し、パネルやフォトスポットで、パラアスリートの競技に向かう姿やプライベートの姿などを紹介。選手の素顔を通じて、多くの方々にパラへの関心をもってもらうことができました。



→
岐阜県図書館では、東京オリ・パラ関連展示に合わせ展示しました。



←
モレラ岐阜に並んだパネル。ショッピング中の家族が足を止めて、じっくり見入っていました。

選手を感じられたPR企画

欲しい！ 公式ユニフォームが当たるキャンペーン

東京オリ・パラ期間中、ユニフォームやウインドブレーカー、シューズケースなど、陸上競技好き、オリパラ好きな方なら喉から手が出るほど欲しい、カナダ陸上競技連盟の公式グッズが当たるキャンペーンを実施しました。方法は「#GifuCanada ホストタウン交流 Project」の公式TwitterまたはInstagramをフォローして、岐阜の写真やカナダ陸上チームを応援している様子の写真を投稿、またはDM送信するだけ。皆さんからの応援投稿は、「#GifuCanadaホストタウン交流 Project」SNSで紹介し、カナダ選手への応援につなげました。

岐阜県公式「#GifuCanadaホストタウン交流 project」 #GifuCanada

大会に出場するカナダ陸上選手に 岐阜の魅力を紹介したり、応援する気持ちを伝えよう！

募集する写真

- ✓ 祭り、伝統文化、食べ物など岐阜を知ってもらえるような写真
- ✓ カナダ陸上チームに見てほしい**岐阜の風景**の写真
- ✓ みなさんが、カナダ陸上チームを応援している様子の写真
- ✓ その他、カナダ陸上チームへおもてなしの気持ちが伝わる写真 など




#GifuCanadaホストタウン交流Project
オリ・パラ事前合宿でのおもてなし

オリ・パラ事前合宿でのおもてなし

いよいよ選手が岐阜にやってきました!

東京オリ・パラ開催にあたり事前合宿のため、カナダ陸上競技連盟の選手団のべ137名が岐阜を訪れました。新型コロナウイルス感染対策として選手団と地域住民の安全・安心を確保しようと、82ページにも及ぶ受け入れマニュアルを作成し、徹底的に感染防止対策を行ったうえでの事前合宿が行われました。



事前合宿で岐阜を訪れた
カナダ選手団

オリンピック

期間/7月18日~31日(14日間)

人数/のべ98名
(選手51名、コーチ・スタッフ47名)

パラリンピック

期間/8月13日~28日(16日間)

人数/のべ39名
(選手17名、コーチ・スタッフ22名)

事前合宿練習会場

岐阜メモリアルセンター(岐阜市)
平田リバーサイドプラザ(海津市)

感染対策例

- ・選手団は毎日全員、コロナのPCR検査を実施
- ・選手は「バブル」を形成し、決められたエリアでのみ滞在
- ・練習会場と滞在ホテル間は専用バスで移動 など

オリ・パラ事前合宿でのおもてなし

ちょっと工夫して 感染対策の中でも居心地よく

感染対策で外出ができない選手のために、リラックスしながら過ごせるような環境作りが行われました。事前合宿には、東京オリ・パラのメダリストも多数参加しており、居心地の良さがメダル獲得につながったのだと思っています。



母国を感じられる「ヘラジカ注意」の看板を発見!



暑さ対策用のプールにアヒルのおもちゃ。可愛い演出に選手も笑顔。



リフレッシュルームにはおもちゃやゲームがたくさん!写真は選手が作ったロボット?!



日本ならではのゲーム「とんとん相撲」で楽しく遊んでくれました。

カナダ選手 おめでとう!

事前合宿に参加したメダリスト

東京オリンピック／陸上競技

5名のメダリスト、3種目のメダルを獲得

金	ダミアン・ワーナー	男子十種競技
銅	エバン・ダンフィー	男子50km競歩
	ジェローム・ブレイク	男子400mリレー
	ブレンドン・ロドニー	
	アーロン・ブラウン	

東京パラリンピック／陸上競技

5名のメダリスト、8種目のメダルを獲得

金	グレッグ・スチュワート	男子 F46 砲丸投げ
	ネート・リーチ	男子 T38 1500m
銀	ブレント・ラカトス	男子 T54 5000m
		男子 T53 400m
		男子 T53 100m
		男子 T53 800m
銅	ザカリー・ギングラス	男子 T38 400m
	マリッサ・パパコンスタンティヌ	女子 T64 100m

#GifuCanadaホストタウン交流Project
事前合宿での子どもたちによるサポート

私たちの気持ち、選手へ届け!

児童・生徒によるおもてなしの心を込めた歓迎セレモニーを、オンラインで行いました。カナダ国歌やメッセージ動画で歓迎したほか、児童が気持ちを込めて折った折り紙金メダルを選手団にプレゼント。みなさんとても喜んでくれました。



歓迎セレモニーでは、児童・生徒によるカナダ国歌の斉唱動画や歓迎メッセージ動画を届けました。練習場から近くにあり、岐阜市・カナダ応援校である長良西小学校からは、選手が活躍する姿を思い浮かべながら作ったという折り紙金メダルが贈られました。「良い結果を出せるように頑張ってください」と、動画でもメッセージを伝えていました。



事前合宿での子どもたちによるサポート



打ち上げ花火で歓迎!



岐阜の児童・生徒からの応援・歓迎メッセージ動画の上映会。



盛り上がった歓迎セレモニー



パラ陸上選手には、輪投げ、ヨーヨー釣り、千本くじなどジャパニーズ縁日を体験してもらいました。

事前合宿での子どもたちによるサポート

ワクワクドキドキ! 高校生が練習会場の準備

カナダ選手が事前合宿で使う練習会場は、県立岐阜商業高校陸上部が準備。選手が気持ちよく練習できるように、スターティングブロックや投てき用具の準備などを完璧にこなしてくれました。



生徒は直前まで、学校に貼られたポスターを見ながら「どの選手が来るのだろうか?」とワクワクしていたそうです。準備当日は、「僕たちが準備した道具を“オリパラ選手が使ってくれる!”とテンション高めでしたが、きっちり練習会場を整備してくれました!

ちょこっとエピソード

公式ユニフォームでやる気いっぱい!

「#GifuCanada」の公式TwitterまたはInstagramをフォローして、公式ユニフォームが当たるキャンペーンに応募した生徒さん。見事、ユニフォームを当選!! そのユニフォームを着用し、陸上部の練習をしているそうです。

手作り和紙のご祝儀袋

岐阜特別支援学校の生徒からパラ選手には、ご祝儀袋が贈られました。カナダ選手団に「頑張っていて欲しい」「日本や岐阜の良さを知って欲しい」という気持ちを込めて手作りしてくれました。



作業学習で学んだ「楮を使用した手すき和紙」を使い、中学部、高等部のさまざまな学年の生徒の手により、時間をかけて製作してくれました。

ホテルには 子どもたちの歓迎の気持ちがいっぱい

滞在ホテルには生徒・児童が歓迎の気持ちを込めたポスターやうちわ、花飾りを飾りました。また、岐阜の観光・食・文化を知ってもらえるような展示も行い、岐阜の魅力をPR。感染対策で外出ができなかったカナダ選手ですが、選手たちは装飾の前で写真撮影をしたりと、日本・岐阜での思い出を持ち帰ってもらうことができました。



島中学校による歓迎ポスターや、岐阜特別支援学校による花飾りなどの前で撮影する選手。



事前合宿での子どもたちによるサポート

子どもたちの歓迎の気持ちと一緒に
ハイ、ポーズ！



#GifuCanadaホストタウン交流Project
中学生と選手のオンライン交流

中学生が自分に重ね合わせながら 選手と交流

オリンピックの事前合宿中、選手2名と中学生がオンライン交流を行いました。お互いの自己紹介の後、生徒は選手を質問攻めに。生徒のみなさんは、選手から丁寧に一つひとつ回答してもらい、とても喜んでいました。



東京オリンピック出場のエバン・ダンフィー選手(50km競歩 銅メダリスト)、マリンディ・エルモア選手(マラソン)と日新中学校(海津市)の陸上部が交流。「モチベーションを高めるためには?」「競技のために普段していることは?」「海津のいいところは?」など、生徒は聞きたいことがいっぱい!選手は「海津市は山も川もある、豊かな自然が印象的」と答えていました。

大学生と選手のオンライン交流

交流を続けてきた学生が パラ陸上選手とオンラインで交流

カナダ料理を紹介してきた東海学院大学栄養学科と、カナダの情報を発信してきた岐阜大学地域科学部の「#GifuCanada ホストタウン交流 Project サポートメンバー」がパラ陸上選手2名と交流。オンライン交流会では、選手を代表して、シャルロット・ボルトン選手 (F41 砲丸投げ) とオースティン・イングラム選手 (T13 100m、4×100mユニバーサルリレー) が参加。同年代同士の交流となり、日本とカナダの学校事情の違いや、食事の話など大変盛り上がりました。また、これから出場する東京パラリンピックへの意気込みを聞くことができ、大学生からは、カナダ選手を精一杯応援したいとエールを送っていました。



東京オリ出場選手の練習を見学!



これまでにホストタウン交流をしてきた学校の児童・生徒が、カナダ陸上選手の練習を見学。「今から東京オリに出場する選手が目の前にいるなんて信じられない!」と興奮した様子で、見学していました。

カナダ選手団からの感謝の声

選手から岐阜へ、 温かい言葉をいただきました

岐阜での歓迎やこれまでの交流について、選手から岐阜県民に向けてメッセージ動画をいただきました。撮影は合宿期間中。貴重な時間の合間を縫って、私たちのために言葉を投げかけてくれました。



ネート・リーチ選手(T38男子1500m金メダリスト)は「合宿を受け入れてくれて、ありがとうございます。トレーニングも順調に進んでいます」と、岐阜での合宿が選手の力になっていることを伝えてくれました。

エリザベス・グリードル選手(やり投げ)から「ここは集中できる練習場。宿泊場所でもみなさんに親切にサポートしていただき、感謝しています」とメッセージをくれました。



カナダ選手団からの感謝の声

オリ・パラ選手15名から 続々と、嬉しいメッセージが届いています

ホストタウン交流、事前合宿の受け入れなどについて、カナダ陸上チームの皆さんから、とてもうれしい言葉、岐阜へのメッセージをいただいていますので、その一部をご紹介します。



#GifuCanadaホストタウン交流Project

ホストタウン交流の振り返り

ありがとう カナダ Arigato Gifu

岐阜県とカナダ陸上競技連盟との事前合宿に関する合意以降3年間、多くの皆さまにご参加頂き、様々なホストタウン交流がうまれました。交流に参加頂いた皆さま、交流をサポート頂きました皆さまに感謝申し上げます。

また、交流の姿をSNS等で発信することにより、交流参加者だけでなく、岐阜から日本全国へ、カナダから世界へ、この交流の輪が広がりました。

これら、岐阜とカナダとの絆、岐阜とカナダとの交流の輪は、東京オリ・パラで終わるものではなく、レガシーとして、今後も続きます。

ぜひとも、#GifuCanada SNSをフォロー&チェックをしていただき、引き続き、「#GifuCanada ホストタウン交流 Project」への応援をどうぞよろしくお願いいたします!

To Be Continued...

「#GifuCanadaホストタウン交流Project」SNS



@GifuCanada



@gifucanada_hosttown



@GifuCanada



#GifuCanadaホストタウン交流Project Forward

#ありがとうカナダ # Arigato Gifu

東京2020大会事前合宿

合宿地 岐阜メモリアルセンター〔岐阜市〕/平田バーサイドプラザ〔海津市〕

参加者数 陸上チーム 98名(選手51名、コーチ・スタッフ47名)
2021年7月10日～31日/14日間

期間 パラ陸上チーム 39名(選手17名、コーチ・スタッフ22名)
2021年8月13日～28日/16日間

新型コロナウイルス感染防止対策から、陸上競技に出場するオリンピック・パラリンピアンは、練習会場と宿泊施設に行動範囲を限定し、東京2020大会事前合宿を行いました。事前合宿においては、オンラインを活用した、児童・生徒らとの歓迎会や交流会、選手からのメッセージ動画による交流、県民への練習公開などを行いました。



2021
東京2020大会開催



JR岐阜駅でのフォトスポット設置

「世界のおもてなし料理レガシープロジェクト」(内閣府主催)への参加
〔参加校〕 東海学院大学 管理栄養学科



岐阜大学地質科学部
ゼネティックメンバー
による情報発信



パラアスリート3名と地味住民約25名とのオンラインイベント



東京2020大会延期による
交流の深化



東京2020大会の1年延期発表



カナダから岐阜へのメッセージ



パラアスリート3名と県内19アスリート
約30名とのオンライン交流
〔参加校〕 県立岐阜清流特別支援学校 など



2019

IAAF世界リーパー2019横浜大会での事前合宿

ジャパンパラ陸上競技大会(岐阜市)への
カナダ選手出場



パラアスリートによる
学校訪問
〔訪問校〕 市立岐阜特別支援学校
市立鳥居中学校



ヘッドコーチによる陸上教室
〔参加校〕 県立岐阜高等学校
県立岐阜北高等学校
県立岐阜商業高等学校



カナダ陸上競技連盟幹部による
市立西郷小学校への訪問

ホストタウンへの登録

岐阜県とカナダ陸上競技連盟との合意



ホストタウンアワード2019カナダ賞(岐阜市主催)
在名古屋カナダ領事館領事によるカナダ紹介



岐阜県とカナダ陸上競技連盟が
東京2020大会の事前合宿を
岐阜メモリアルセンターで実施
することに合意



「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」
(内閣府主催)への参加
〔参加校〕 県立岐阜商業高校 流通科学科



2018